

中高一貫教育だより

令和元年 8月 19日 第1号発行

5月16日（水）、軽米町役場にて第1回軽米地域中高一貫教育協議会が行われました。菅波俊美会長（軽米町教育委員会教育長）から「協議会委員の増員をお願いし4名増員となった。より多くの意見を聞き、地域に広く理解してもらいたい。軽米高校について知りたいとの意見をいただき、広報活動や説明の機会の設定に力を入れている。広報軽米に「軽高だより」のコーナーを開設した。多くの理解を得られることが支援に繋がる。昨年度は新しい取り組みとして、中学生が高校で数学の授業を体験したり、生徒会執行部の交流、軽高生と語る会があった。さらに発展してほしい。」とご挨拶いただきました。[写真右上]



第1回 中高一貫教育協議会

その後、分科会と全体会が行われ、軽中・軽高の全教員が集まり、同じ教科や部活動などの単位で情報交換しながら、よりよい中高一貫教育の在り方について話し合いました。



中高生徒会執行部 朝の挨拶運動

今年度も6月から数学の交流授業が始まっています。英語の交流授業は8月（夏休み明け）から始まります。高校教員による中学校での授業の中でも、英語の集中講義「ディベート授業」は中学生から好評であり、数学においても今年度から「集中講義」を計画しています。その他にも、軽高生と語る会（9月11日）・中高クリーン作戦（9月17日）・高校教員が行う豚の目の解剖実験（理科）なども計画されています。昨年度末から生徒会リーダー交流会を開催し、4月から月1回の「朝の挨拶運動」に合同で取り組んでいます。これからの交流も楽しみです。[写真右下]

<今年度の交流授業の主な内容>

| 教科 | 高校担当者 | 中学担当者 | 実施内容 |
|----|-----------------|-------|--|
| 数学 | 吉田 憲司 | 中渡 昭徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校へ週1回の訪問授業（6月～水曜日） ・高校教員の中学校での集中講義（10月・11月） ・数学検定中高合同実施（7月20日・12月） ・中高一貫合同テストの実施（12月） など |
| 英語 | 富樫 奈津子 野田 真子 | 熊谷 康弘 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校への週1回の訪問授業（8月～火曜日） ・高校教員の中学校での4日間の集中講義（11月） ・英語検定2次対策（準2級以上の中学生を高校教員が指導） ・共通テスト（単語テスト）の実施 ・小・中・高の連続性のあるCan-Do Listの作成 など |

軽米高校一日体験入学に 80名の中学生が参加！

7月3日（水）午後、軽米高校の中学生1日体験入学が行われました。近隣の中学校から80名の3年生が参加しました。昨年度よりもさらに広域の中学生に参加してもらい、授業体験や部活動体験を通じて、より広く軽米高校を知ってもらいました。多くの参加者から好評を得たことから、本校への入学希望者の増加を期待しています。

概況は以下の通りです。

1 参加者総数 80名

【内訳】軽米中 62名、九戸中 11名、金田一中 2名、中沢中 2名、島守中 1名、長者中 1名、八戸東中 1名

2 体験内容

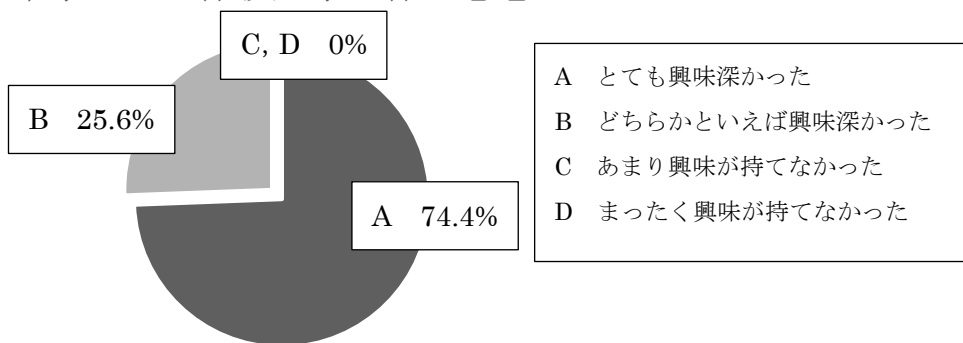
13:30～ 全体会（音楽部・吹奏楽部の演奏、生徒会と校長からの学校説明）

14:15～ 情報授業と化学実験授業の体験（それぞれ30分ずつ2コマ体験）

15:30～ 部活動体験および見学

3 事後アンケート集計結果

中学生一日体験入学全体の感想

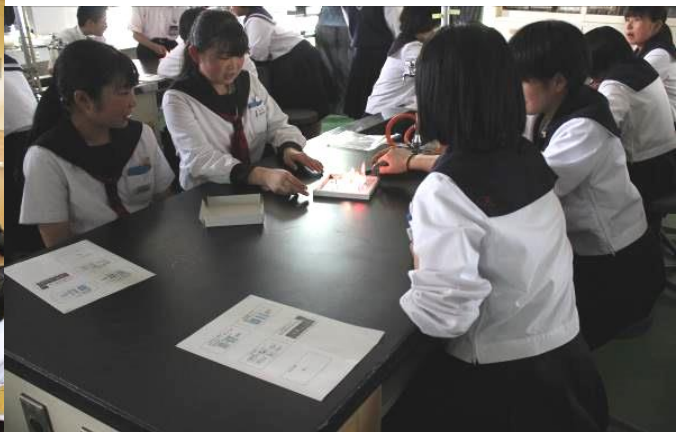


4 中学生からのアンケート（多数意見から一部抜粋）

- ・軽米高校の一日の様子や、学校の特徴などを分かりやすく教えてもらったので興味を持てた。
- ・化学の授業体験で花火の材料を知ることができた。自分の知らない世界が広がった気がした。
- ・部活動体験で中学校にない部活動を体験できたので、高校入学後が楽しみになった。
- ・先輩たちとの交流もあって楽しかった。分からないことを優しく教えて下さる先輩が多くてよかった。
- ・軽米高校の少ない人数だからこそこのいいところも分かった。地元の学校の良さが分かった。



↑ 音楽部発表の様子（全体会）



↑ 化学「炎色反応」体験授業の様子